

第1回南部地域療育センター改善評価委員会報告

平成30年9月26日（水）

14時～15時30分

南部地域療育センター会議室

1 会議出席者

南部地域療育センター：長所長、長谷川副所長、小島園長、小林係長、先崎係長、各主任、木村職員
法人本部：平田統括参事

2 議題

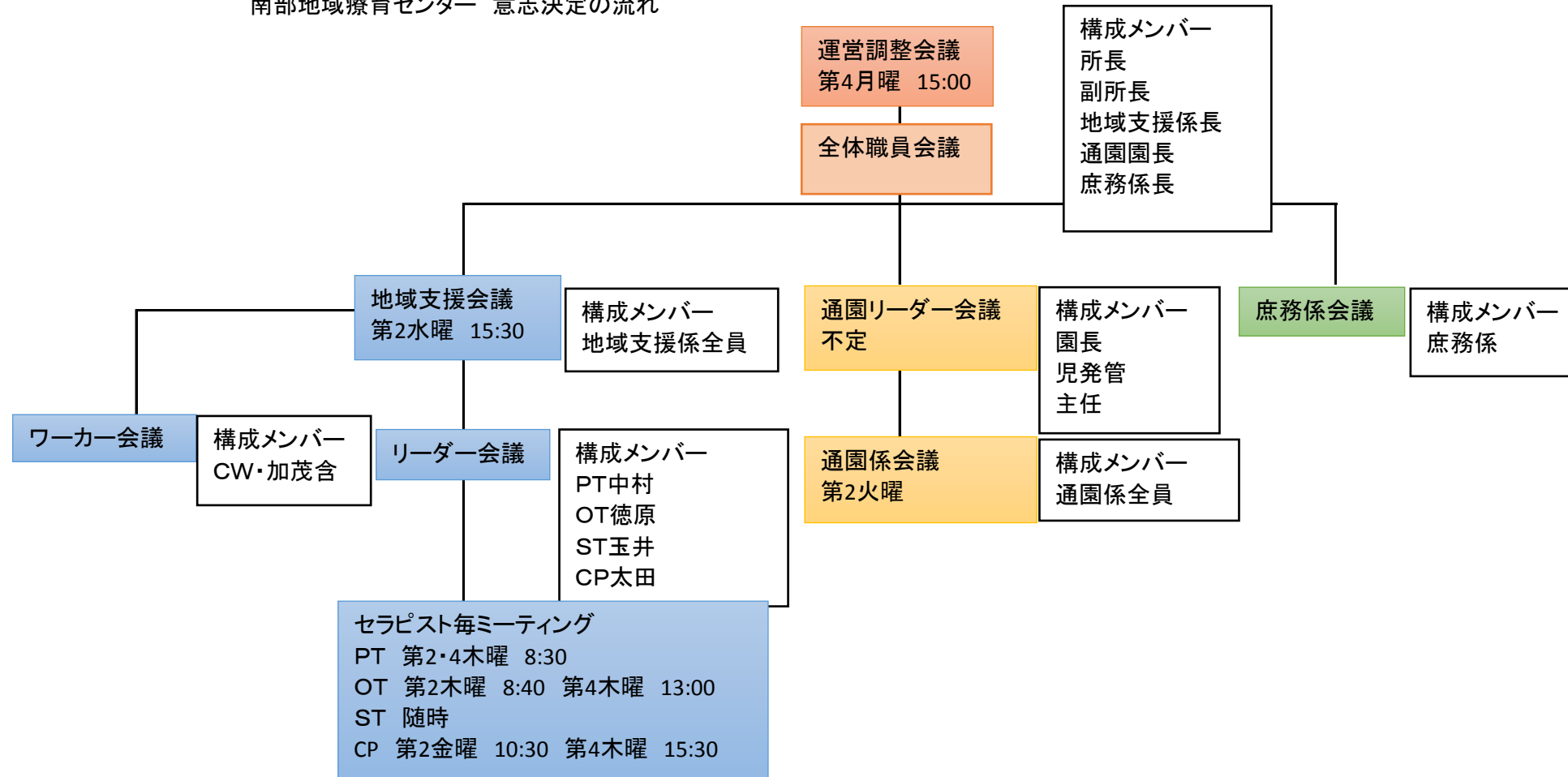
(1) 改善に向けた主な具体的取組みの進捗状況の確認

- ① 福祉型、医療型、短時間、障害児相談支援、障害児計画相談、医療法関係の各事業について担当主任を選任し、行政等からの情報、請求チェックについて点検確認後に管理者に報告する体制を確立した。
- ② 請求業務について、担当主任が入力し、庶務係長が行政に送信する作業の流れを確立した。
- ③ 行政主催の事業者説明会について、1週間以内に出席者間ですりあわせ、2週間以内に所内周知と運営会議で報告を行うこととし、9月27日の集団指導への出席者を確認した。
- ④ 主任及び児童発達支援管理責任者の役割を徹底するとともに、個別支援会議を適宜開催できているかを確認した。
- ⑤ 行政への届出書について、通園係及び地域支援係の係長が一義的な責任者となり、最終的には副所長が確認するよう体制化を図った。
- ⑥ 情報の共有に向けて、通知文等の回覧ルートに係毎に変更した。
- ⑦ 所内決済ルートと文書凍儀ルールを作成した。（別紙のとおり）
- ⑧ 主任会議やリーダー会議等について、意見が言いやすい環境になったことを確認した。
- ⑨ リスクマネジメント研修について内容を検討し実施する予定である。

(2) 次回予定

10月24日（水）

南部地域療育センター 意志決定の流れ



セラピスト毎ミーティング

- ①ケース業務の報告
- ②ケース業務の相談
- ③日常業務上の改善点、意見、発案等

※これらを、屈託なく意見し合う。

リーダーはこれらを吸い上げ、リーダー会議に挙げる役割を担う。

リーダー会議

セラピスト毎ミーティングにて吸い上げられた意見について検討する。この議題の中で必要なものを地域支援係会議に提出。

地域支援係会議

レジメ配布は1週間前。各職員は事前に読み込み、疑義、意見をまとめておくこと。レジメを読んでいることを前提に進行し、会議の場で字づらを追うことはせず、意見を聞き、検討の場とすることに時間を割く。

運営調整会議